

放課後等デイサービス事業所における自己評価の集計結果(公表)

公表： 令和 4 年 3 月 21 日

事業所名 地域サポートセンターえがお

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	0	3	・ベッド・バギー・マットを、利用児の状況や活動目的で使い分けてスペースを確保しています。	利用者の成長や座位保持にバギーも必要な状況から室内が狭い状況がある。うまくスペースを活用して児童の安全確保に努めていく。身体状況などによっては別の活動場所を検討していく必要がある。
	②	職員の配置数は適切である	0	3	利用者の安全確保を第一に優先しています。スタッフ間のコミュニケーションをしっかりとることを心がけています。	療育活動と医療的ケアの同時進行は人手が必要でありマンツーマンでの関りが望ましい。時間帯によって手薄になる際には何かあったときに即応援要請できる体制をとる。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	3	エレベーターが狭く、利用者の手足の位置など危険がないか必ず確認しています。	安全に過ごせるよう環境整備を行う。エレベーターに関してはバギーのサイズアップなどの状況に応じて活動場所の検討を行っていきたい。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画して	2	1		
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	1	2		
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1	2		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている業所の会報やホームページ等で公開している	1	2		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	1		
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	0		
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	1		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	1		
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫し	3	0		
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	1		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス	3	0		
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	0		
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	1	打ち合わせできない状況もあるが、支援記録を確認することで情報共有している。	利用者の情報共有として支援にあたる前には記録を読み情報収集することを前提とする。ケアに関わることは口頭でも申し送りしてお互いに内容を確認しあう。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	0		
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し	3	0		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	2	1		
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	0			

関係機関や保護者との連携	⑳	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	0		
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え	2	1		
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	2		
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	3	現在の事業所になってから卒業した方がいないが、今後卒業を控えている児童が増えてくるため卒業を控えた支援が必要と考えます。	卒後の支援について、相談支援専門員との連携を行う。
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	2		
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	3		
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	0		
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	1	2		
	㉘	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている 保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	2	1		
保護者への説明責任等	㉙	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行う	2	1		
	㉚	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	3	コロナ禍により保護者会として開催はできないものの、医ケアカフェでオンラインで保護者の交流の場を提供しています。	医ケアカフェはこれまでに参加していない方にとって参加しにくい状況もあると思うので、えがお利用者として集う会の提供も検討していきます。(感染状況に応じて対面の会もできたらと思
	㉛	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	2	1	ご家族の思いを聴くことを大切にしていますが、できることとできないこと、できない事に対処したらできるかを検討しながら対応しています。	保護者の苦情は真摯に受け止め、対応については丁寧な説明を行う。スタッフ間での食い違いがないように共有する。
	㉜	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	0		
	㉝	個人情報に十分注意している	3	0		
	㉞	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	0		
	㉟	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2		
	非常時等の対応	㊱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	1	
㊲		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	2		
㊳		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	1		
㊴		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載して	3	0		
㊵		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	0		
㊶		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	0		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。